

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立吹上小学校
作成日	令和4年 3月1日

1 教育目標

新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する (ふ)深く考え、進んで学ぶ子 (き)気概をもち、めあてに向かって働く子 (あ)あたたかい心をもち、なかまとみがきあう子 (げ)元気いっぱい、体をきたえる子

2 学校の自己評価についてのご意見

	確かな学力	豊かな心	健やかな体	地域とともに
指標	・県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る。 ・漢字博士試験合格率(児童60%) 漢字の書き順は試験にはふくまれないのでしょうか。 ・毎日の勉強が分かる(児童95%)	・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・学校や社会のきまりを守っている(児童95%) ・いじめ解消率(100%)	・給食の時間が楽しいと感じる(児童93%) ・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備した(教員95%)	・学校の様子がよく伝わった(保護者95%) ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教員80%) 保護者や教職員からの回答では、地域からの評価にはならないのではないのでしょうか。
重点目標 見に対する意	目標はスマートに、具体的に、数値的に、達成可能に、現実的に、時間の設定をする。 読むのが得意な子もいれば、書くのが得意、話すのが得意とそれぞれの個性を伸ばすことが大事だと思います。	どうか引き続き読書の機会を持てるように尽力願いたいと思います。 目で見たり表現したり共有するのが難しいことですが、小学校では学習以上に大切なことです。	心と体は「表裏一体」どちらも大事だと思います。	ホームページを拝見しました。カラフルで充実した内容です。 幼小の接続、中学校区の進捗の遅れは行政の問題です。
取組の状況に対する意見	今年度、蔵書管理システムが導入されたことにより貸し出しがスムーズになりました。また、ボランティアを図書委員が協力して図書まつりを開 できて読書活動がさらに推進されたと感じられた。今後もぜひ継続していただきたいです。 毎日の勉強がわかると思っていない1・2年生児童13パーセントほどが少し気になりました。わかりにくところがあるのかなあと感じます。 「研究授業」は備わっていてどうでんではないのでしょうか。自分や友達、先生の名前を書けることも大事だと思います。	巡回公演等、子ども達が生の芸術に触れる機会を多くとっていることはとてもよいと思います。ヨット体験など色々なことが鑑賞できたり体験できても良かったと思います。次年度もぜひ続けていただきたいです。 なかよし活動は学年に応じた自分の役割わかる取組みだと思っています。子どもの話から低学年の時に大切にしておらった記憶が代々受けがれているようで有意義であると思います。引き続き温かみのある落ち着いた学習環境をお願いします。 学校はいじめをなくすことに取り組んでいると考えるのに否定的な保護者は、ご自分のお子さんがうまく周囲にとけこめていないのではという漠然とした不安をお持ちなのではと感じました。 芸術に触れる機会があつて感動する心が成長を促してくれると思います。 いじめを受けたり見たりした時の対処法から「仲間づくり」への過程が大切だと思います。	黙食している中、給食の時間が楽しいと感じている子が増加していることから、先生方が工夫してくださっていることがわかります。 校長生が毎朝校門で挨拶してくださっているのは本当に有難く安心感があります。 今回の北京オリンピックを見ていて、華麗な技的部分にスポットがあたりすぎているのではと懸念を感じました、それを支えているのが基礎体力であることを教えてあげていただきたいです。 コロナ禍での黙食は子ども達にとってはストレスだろうと感じます。 「危機回避能力」が入ったことは素晴らしいことです。教職員も研鑽してほしいです。	くるりんメールやHPでいち早く学校の情報がいただけるので有難いです。「学校だより」や「人権だよりゆたかな心」で子ども達の様子や取組みがよくわかりました。今年度も様々な出前授業があり子ども達が色々な体験ができたことに感謝しています。 「学校の様子がよくわかる」についての保護者の要望をどう反映するのが課題だと思います。
次年度に向けての改善方法に対する意見		「学校のことをよく話す」ことが大事だと思います。学習の進捗もいじめの問題も早期発見できるのは家庭です。指導はしにくいですが必要です。	給食の時間が楽しみになる工夫を続けてもらいたいです。自分の体力については、優劣や順位でないように希望します。	新型コロナウイルス感染防止のため、学校開放ができず、地域の人や学校の様子を知ることがあまりできないので、学校の子どもの様子を発信できるものがあればと思います。 中学校との連携を是非継続・充実していただきたいと存じます。 「英語の授業」は評価できません。さらに部活動も取り組んでもらいたいです。

3 その他のご意見

吹上小学校の子ども達は学年を越えて仲が良いと思います。縦割り班の活動によるものと思いますが、上級生が下級生の相手を事前としているのが豊かな心が育まれていると感じます。・コロナ禍の中、教職員の皆様が可能な限り行事や新しい取り組みに挑戦してくださっていることに感謝しております。

コロナの状況で、学習内容の充実と児童の身の安全・心の安定に配慮し、地域・保護者との連携を保っていくことは容易でないと思います。真摯な取組に心からの敬意を捧げます。

コロナ禍での多種多様な取組お疲れ様です。ホームページをたまに拝見させてもらっています。

「学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」の3つの調和がとても大切で難しい時代になっていると思います。学校だけではなく、家庭はもちろん親・学校・地域での包括的な取組で子ども一人一人に寄り添った教育や指導が求められます。